

4月『定期総会・懇親会』

4月23日シャインズにて、刈谷商工会議所専務理事 岡田様をご来賓にお迎えし、女性会定期総会が開かれました。

水越前会長や野々山新会長の挨拶を聞き、コロナが5類となる事により日常生活が戻ると共に、充実した活動が出来る事の喜びをかみしめました。また、会員の羽谷さんから、女性会の創設からの歩みをお話ししていただきました。今の形になるまでの試行錯誤の様子など聞くことが出来、とても感慨深いものでした。

この素晴らしい女性会をますます良きものにしていこうと、微力ながら心に誓った有意義な会となりました。

社会奉仕・広報委員 桜井 青子



5月例会『災害・防災の紹介～自助力の向上に向けて～』

刈谷市役所 生活安全部 危機管理課 五十嵐克己様にご講演いただきました。

令和6年1月1日、能登半島にマグニチュード7.6の地震が発生しました。私たちが住んでいる刈谷市も南海トラフ地震がやってくるかもしれません。一番大切な事は、日頃からの地震への備えの再確認が大切であることを教えていただきました。

①避難場所・避難経路 ②家具の固定確認 ③非常持出品の確認 ④家族との安否確認手段を今一度確認しようと思いました。

災害用伝言ダイヤル171の使い方や、地震臨時情報発生時のアラーム音（TVやスマホ）の違い、普段持ち歩いているカバンに食料や携帯トイレを入れておく等、生活の中で少し工夫することによって、いざという時の準備と身の安全を確保できると認識しました。

社会奉仕・広報委員 禰宜田 沙知



刈谷商工会議所女性会は、現在事業経営に携わっている女性、そして将来経営に参加しようと考えている女性の集まりです。

会員相互の親睦を図りながら、女性ならではの感性を活かし、見聞を広め、実行力を身につけるために、研究会や講演会などを企画し、楽しく活動しています。

刈谷商工会議所会員事業所に在る女性ならば、どなたでも入会できます。尚会費は1ヶ月2,000円です。詳しくお話を聞かれない方は、刈谷商工会議所内 女性会事務局（TEL21-0370）までお問い合わせ下さい。

6月例会『趣向の茶事』

梅雨前線が頭上に居座る中、刈谷市住吉町の刈谷市美術館敷地内に唯一ある茶室『佐喜吉庵』にて、26名の会員が参加し、6月例会を楽しみました。

宗偏流の教授であります、竹内政子先生をお招きしてご指導賜りました。おいしいお茶を点てる人、それをお運びする人、そして味わう人の役割にそれぞれ分かれ、交代で行いました。刈谷市産業まつりで女性会が開催している『大茶会』で培われているおかげでしょうか、皆様とてもスムーズに取り行われており、粛々としつつも和やかな雰囲気が進められ、楽しいひと時を過ごしました。

これからも日本の文化を忘れないようにしていきたいものです。

社会奉仕・広報委員 大嶽 とし江



7月例会『万燈祭を通じて、刈谷市無形民俗文化財の鑑賞』

7月27日(土)刈谷商工会議所にて、昨年の万燈祭を特集した映像を鑑賞しながら食事会を行い、その後、万燈祭『一斉舞』を見に現地へ向かいました。

万燈祭は刈谷市銀座にある秋葉社の祭礼で、江戸時代中期から240年以上続く火難防除と町内安全を祈願するお祭りです。高さ約5m、重さ約60kgの万燈を若衆が一人ずつ交代で担ぎ舞い踊る勇壮なお祭りで、愛知県の無形民俗文化財に指定されています。氏子7町と市内の企業や地区も参加し、10数基の大万燈と、子供万燈もあります。日が沈み、色鮮やかな万燈に火が灯り、真夏の宵闇に浮かび上がる万燈が舞い踊る様は、実に勇壮で見る人の心を魅了します。

とても暑かったですが、生の万燈祭を皆で見て楽しむことができ最高でした！万燈祭の開催には、一人一人の努力と皆の協力が大切であると感じました。私たち女性会も皆で協力し合い和をもって、心を一つにしてこれからも楽しく行事ができれば嬉しいです。

社会奉仕・広報委員 澤田 良子



9月例会『女性活躍時代において女性リーダーのあり方・生き生きとした働き方』

9月4日、今永典秀氏をお招きし『女性活躍時代において女性リーダーのあり方・生き生きとした働き方』をテーマにご講演いただきました。

今永氏は、名古屋産業大学 現代ビジネス学部 経営専門職学科の准教授をされておられる方です。先生は刈谷のまちづくりにとっても関心をお持ちで、ご自身の生徒さんや若い方たちと共にまちの発展のため、色んな意見を出し合い、地域を盛り上げる活動を精力的にしてくださっています。

変わりゆく社会の中で、これからの時代に必要な『共創』とは？「じゃがいもプロジェクト」「カリヤクエスト」「まちを盛り上げるワークショップ」などなど、とても楽しいことだと思います。私も「刈谷あきんどマルシェ」「刈谷わんさか祭り」に出店をし、とても楽しくやらせていただいています。今はITの時代で、インスタグラムなどで色んな情報を積極的に発信し、たくさんの方々に知っていただくことが必要だと思いました。

社会奉仕・広報委員 竹村 初美

